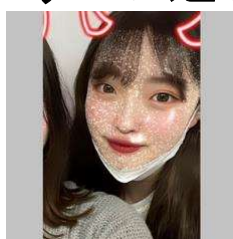




宮城学院女子大学宮原ゼミ
チームビジネスエンジニアMGU



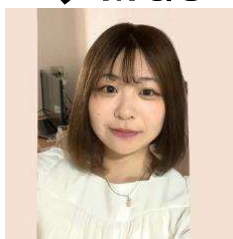
林 愛乃
HAYASHI AINO
: 広報担当
和紙チーム



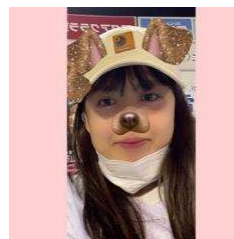
大塚 鼓音
OTUKA KONO
: 和紙チーム



加藤日奈
KATO HINA
: リーダー
竹細工チーム



後藤 瑠佳
GOTO RUKA
: 広報担当
竹細工チーム



今野 朱理
KONNO AKARI
: 会計担当
竹細工チーム

指導教員: 宮城学院女子大学 宮原育子教授
協働事業者: 白石市佐藤紙子工房、大崎市竹工芸館

～県内の魅力分析～

宮城県は150周年を迎えた＝歴史ある土地

- ➡ 伝統が多く存在している
- ➡ 「**伝統産業**」に焦点を当てる。

県内の伝統産業の現状

- ・職人さんの高齢化や後継者不足
- ・輸入品や安価な商品で代用できるようになり、伝統工芸品の衰退



現代社会の現状

- ・生活様式の変化により、伝統産業離れが生じてしまっている。
- = 人々の**伝統産業への興味関心**が薄れている。

課題

- ・伝統工芸品との出会いの場づくり
- ・伝統工芸品の魅力発信と現代のニーズに合わせた**新商品開発**

～目的～

～若者の伝統産業離れの**解消**と後継者**発掘**、
現代のニーズに合わせた**新商品開発**～

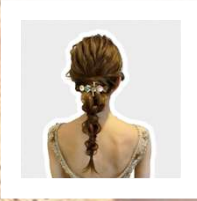
- ▶ 県内の伝統工芸品に触れ、伝統産業に**興味関心**を持ち、宮城の美を若者に認識させる。
- ▶ 伝統産業の技術や美学から、現代にも受け入れられ新しい形で伝統を**理解**し、その土地に**関心**を呼び起す。

▶ アンティークボタン
現代のニーズに合わせ、女性にも親しみやすいデザインに

白石和紙

岩出山しの竹細工

アンティークボタン



▶ 白石和紙

草木染した和紙に「拓本染」する和紙が「白石拓本染和紙」と言い、模様が入った和紙で古くから東北を伝える名品の1つとなっている。
特徴：強度と耐久性に優れている。
→着物などの衣服が作られる。

▶ 岩出山しの竹細工

「しの竹」の皮の部分を使用し、表皮を内側にして編み込んで作られる。
特徴：弾力性と耐久性に優れている。
→籠やざるが作られる。

活動スケジュール

7月

- ・佐藤紙子工房さん(白石和紙)と竹工芸館さん(岩出山しの竹細工)へ電話やメールでコンタクトとった。
- ・ロゴマーク作成。
- ・佐藤紙子工房さんへ第1回目訪問。

8月

- ・竹工芸館さんへ第1回目訪問。
- ・試作品制作、宮原ゼミで試作品お披露目。アンケート実施
- ・佐藤紙子工房さんへ第2回目訪問。白石和紙購入。

9月

- ・竹工芸館さんへ第2回目訪問。岩出山しの竹細工購入。
- ・ランチ仙台まちづくりスポット仙台でワークショップ開催。アンケート実施。

bz._miyagi150

⊕ ☰



11

投稿

132

フォロワー

172

フォロー中

チームビジネスエンジニアMGU

宮城学院女子大学 現代ビジネス学科 宮原ゼミ「チームビジネスエンジニアMGU」です！
宮城県制150周年記念事業の活動に参加しています。この活動では、宮城の伝統工芸品の魅力を身近に感じて頂けるよう、白石和紙と岩出山しの竹細工をコラボさせたパレットの制作・販売、ワークショップを行なっています！！
miyagi150th.pref.miyagi.jp/

●活動期間中は、Instagramの
@bz.miyagi150で情報発信を行ってました！

白石和紙

5種類の和紙を購入



試作品の作成



ボタンの大きさ変更



くるみボタンのサイズに丸くカット

試作品段階では18mmのくるみボタンを使用
 試作品を宮原ゼミでお披露目、アンケート実施
 くるみボタンと竹細工、アンティークボタンの隙間が気になるという意見

➡ くるみボタン22mmに変更

岩出山しの竹細工

風車の竹細工を購入



試作品の作成



やすり掛け・ニス塗



試作品段階では竹細工の先端を削らずに使用
 先端が指などに刺さってしまうことを防ぐ、竹の劣化を防ぐ



➡ 竹細工のやすり掛け、ニス塗

ワークショップ

モニターとして参加していただくため、アンケートに答えていただくことを条件に、参加費材料費は無料で開催！

場所：ランチ仙台 まちづくりスポット仙台
日時：9月24日（土）11：00～16：00
参加人数 先着20名

ワークショップ

各自で思い思いにデザインした世界で一つのバレッタ作成



5種類の模様の
違う白石和紙を2種選ぶ



くるみボタンの作成



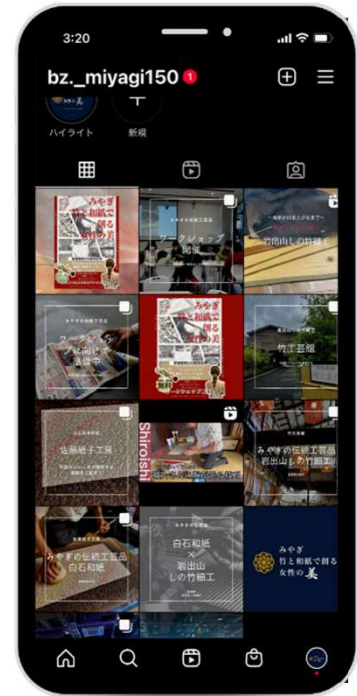
50種類の中からアンティークボタンを2つ選ぶ



岩出山しの竹細工を接着



Instagram での宣伝



事前にチラシ・ロゴを作成
店頭に立ちチラシ配布・声かけ

ワークショップでの様子



作り方をレクチャー

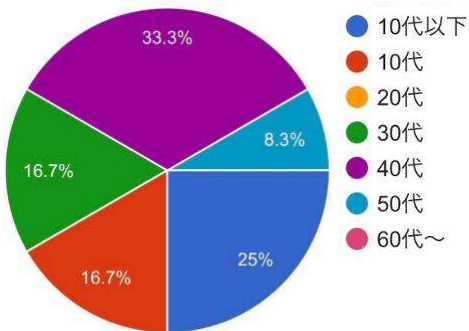


参加者の完成した作品



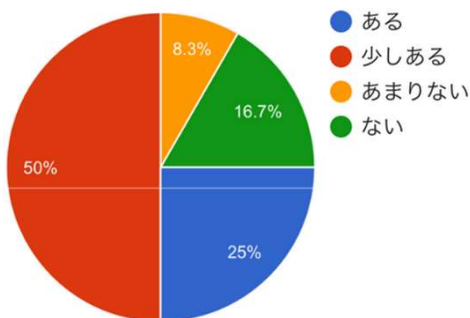
アンケート質問事項

1. 年代
2. 性別
3. 宮城の伝統工芸品に興味関心はあるか
4. 岩出山の竹細工が宮城の伝統工芸品であることを知っていたか
5. 白石和紙が宮城の伝統工芸品であることを知っていたか
6. 岩出山の竹細工の魅力を知っていたか
7. 白石和紙の竹細工の魅力を知っていたか
8. バレッタに魅力を感じていたか
9. ワークショップに参加しようと思った理由
10. 白石和紙の柄5種類のうちどれが一番好きか
11. ワークショップを通して宮城の伝統工芸品に興味を持ったか
12. このバレッタはどのくらいの価格だと手に入れたいと思うか
13. バレッタについての感想



Q1 年代を教えてください

比較的幅広い年代の方にアンケートに答えて頂くことができた。特に40代と10代以下からの回答が多く親子連れの方に多く参加頂くことができた。しかし20代からの回答を得ることができなかった。



Q2 宮城の伝統工芸品に興味関心はありますか

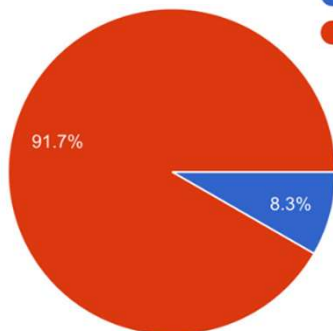
「少しある」と回答した方が半数の50%「ある」が25%。

Q3

	知っていた	知らなかった
岩出山しの竹細工が宮城の伝統工芸品であることを知っていましたか	8.3%	91.7%
白石和紙が宮城の伝統工芸品であることを知っていましたか	8.3%	91.7%

Q4

● 知っていた
● 知らなかった



岩出山しの竹細工、白石和紙が伝統工芸品であることを認知していたのはどちらも8.3%。全回答数12件のうちの1件のみ。ただし同一者ではない回答であった。

Q5

	知ることができた	あまり分からなかった	分からなかった
ワークショップを通して岩出山しの竹細工の魅力を知っていただけましたか	100%	0%	0%
ワークショップを通して白石和紙の魅力を知っていただけましたか	100%	0%	0%
パレットに魅力を感じていただけましたか	100%	0%	0%

Q6

Q7

Q8

	持った	持っていない
このワークショップを通して宮城の伝統工芸品に興味関心を持ちましたか	100%	0%

Q9 ワークショップ・バレッタについての感想

現代と伝統文化の中間的な融合で
分かりやすい

和紙の柄がとてもかわいい
凹凸が特にきれい

チラシのバレッタが素敵

自分で作ることがとても楽しかった

和紙が同じ柄でも一枚一枚ボタンに使用する
面が異なるので和紙を選ぶ作業が楽しかった

1日だけでなく別日や他の場所でも
またワークショップを開催してほしい！

思っていたより簡単にバレッタが作れて
家でも自分達で作ってみたい！

この活動で得られた効果

- 伝統工芸品に触れる機会の創出
- 宮城の伝統工芸品の知名度の拡大
- 宮城の伝統工芸品の興味関心の増大
- 伝統工芸品の新たな魅力発見、理解
- 伝統工芸品に対する印象の変化



活動を通して

- 伝統工芸品は世代を問わずに惹きつけられる魅力があることを知った。
- 伝統工芸品に触れること、その存在を知ることは地域そのものを知る入口になる
→ より地域が魅力的に感じられることを知った
- 伝統工芸品は日常に彩りを与えてくれる存在であり、宮城が誇る美、さらには日本が誇る美であると知った。

訪問から見てきた伝統工芸品の現状

白石和紙

- 職人さんが90代ぐらいの方がお一人でやっていた。
→ 後継者不足
- 以前は、着物などが衣服に使用されていた。
→ 時代の流れに伴って、着物やのきる機会が減った。



アパレルメーカーとのコラボ商品やアクセサリー
名刺入れなど日常に親しみやすい商品の開発が実施。

岩出山しの竹細工

- 職人さんが減少し、高齢化が進む
→ 後継者不足
- かごやざるに使用されている。昔は、各家庭で竹で作られたかごやざるが使用されていた。しかし、現代の生活スタイルの変化により、需要が減少
→ 認知度が低い。



現代のニーズあったユニークな作品の制作や子供たちも親しめるよう、竹とんぼの販売の実施。

課題

- ・ 職人さんの高齢化による職人さんの減少 = **後継者がいない**。
→ 今後、伝統工芸品の継承が困難になることが予想される。
- ・ 多くの方に親しんでいただける商品の工夫が必要。
- ・ **現代にアレンジされた伝統工芸品の魅力発信不足**である。



宮城県制150周年記念

POP UP STORE

本日バレッタの販売会実施！

限定
15個

場所：国際センター大ホール隣
桜ホール
時間：式典終了後～
価格：1,000円



ご清聴ありがとうございました！



みやぎ“アイスる”プロジェクトとは？

課題

宮城県は食材が豊富すぎるあまり、隠れた特産品に目が見えない



仮説

“ジェラート”を通して隠れた食資源の魅力を県内外の人々に伝えていけるのではないかと



目的

宮城県内の全35自治体を調査することで新たな魅力を発見する



研究室と連携体制



7月

中旬 資源に関する事前調査
下旬 アンケート作成



スケジュール

試作までの道のり



8月

上旬 自治体への電話掛け
中旬 アンケート送付
アンケート収集
下旬 データ分析



9月

上旬-中旬 5自治体へのヒアリング
材料の選定作業
下旬 試作
プチ試食会



ヒアリング調査の設問

【ヒアリングシート of 主な設問項目】

- ・ その食材の一次加工の状態について
(ジェラートの材料とするためには、一次加工されている状態が望ましいから)
 - ・ その食材が一次加工されている製品はあるか
 - ・ 一次加工されている製品の価格について
 - ・ 一次加工を行っている業者について
- ・ その食材の生産時期について
- ・ 商品化するとした場合に、
どの程度の食材を確保していただけるか
- ・ その食材を材料としたアイス、ジェラートの生産状況

*ヒアリング調査実施時に質問内容の変更、追加も行った。

-ヒアリング内容-

1.加美町

- ・ うんだっぺろ(熟らした柿)

2.気仙沼市

- ・ ブルーベリー・いちご・大唐桑・
- ・ コーヒー

3.山元町

- ・ ブルーベリー・いちじく・さつまいも

4.美里町

- ・ 梨

5.大和町

- ・ そば



自治体調査アンケートについて

宮城県内の「隠れた食資源」が材料となった地域資源ジェラートの開発に向けて、宮城県内の「隠れた食資源」を調査し、ジェラートの材料を選定するために、「地域資源ジェラートの開発に向けた自治体調査」を実施した。

これまで、当研究室では、塩釜市の藻塩、石巻市の煎茶、柴田町のゆず、角田市・丸森町の牛乳のジェラートを製作した。そのため、当初は、以前当研究室でジェラートを製作した5自治体以外の県内30自治体を対象にした調査を本プロジェクトの調査内容と計画していた。しかし、今回のプロジェクトでは、角田市と丸森町の地域資源を再調査することにした。また、仙台市は区ごとに分かれているという点によって調査が難しいと判断したため、今回の調査の対象から除外した。

アンケート調査の概要

調査票発送日	2022年8月22日 注1)	
調査対象	仙台市、石巻市、塩釜市、柴田町を除く、宮城県内全自治体（31自治体）の各自治体で回答を担当してくださる部署	
調査票配布方法	電子メール	注1)
回答の回収方法	電子メール	22日に送信したが送信エラーのため正常に送信できなかった自治体へは24日に改めて送信した。
調査期間	2022年8月22日～2022年9月12日 注2)	注2)
調査票配布数	31自治体	2022年9月2日が締め切り日で、当初は調査期間が2022年8月22日～2022年9月2日であったが、回答の締め切り日を過ぎた後にいただいた回答も、9月12日までにいただいた回答であれば集計に含めたため、調査期間は2022年8月22日～2022年9月12日となった。
有効回答数	25自治体	
回収率	80.65%	
調査票の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者情報の記入欄（自治体名、部署名） ・設問 ・参考情報の添付欄 	

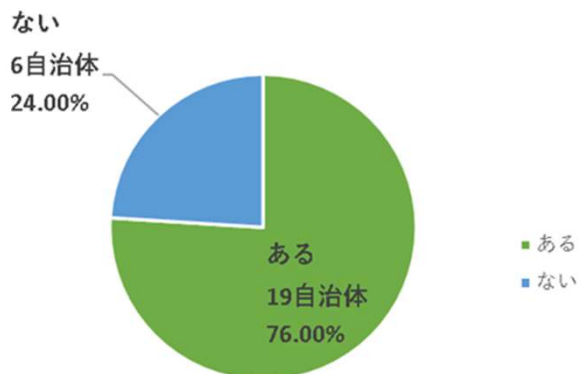
アンケートの設問

設問番号	設問文	回答形式	回答対象者
【1-1】	貴市町村には魅力はあるが、活用できていない地域資源はありますか。	選択式 「1. ある」/「2. ない」、 単数回答	全自治体 (宮城県内31自治体)
【1-2】	設問1-1で「ある」と回答していただいた方は、以下の欄内の回答もお願いいたします。 (10個以内) (設問1-1の地域資源の詳細についての質問)	自由記述式(地域資源の名称、生産地または加工場所、地域資源の特徴を自由記述式で回答)、 複数回答可(10個以内)	設問1-1で「ある」と回答した自治体
【2-1】	設問1-2の食材で、ジェラートに活用できる食材はありますか。	選択式 「1. ある」/「2. ない」、 単数回答	設問1-1で「ある」と回答した自治体で、設問1-2を回答した自治体

アンケートの設問

【2-2】	設問2-1で「ある」と回答していただいた方は、以下の欄内の回答もお願いいたします。 (3個以内) (設問1-2の食材で、ジェラートに活用できる食材の加工状況についての質問)	自由記述式(食材の名称、生産地または加工場所、生産者、食材の加工場所、食材を加工して販売している商品の価格を自由記述式で回答)、 複数回答可(3個以内)	設問2-1で「ある」と回答した自治体
【3-1】	宮城県の地域資源を活用したジェラートに興味・関心がありますか。	選択式 「1. ある」/「2. ない」、 単数回答	全自治体(宮城県内31自治体)
【3-2】	設問3-1で「ある」と回答していただいた方は、地域資源の活用の際に重視するポイントについて教えてください。 (複数回答可)	自由記述式、 複数回答	設問3-1で「ある」と回答した自治体

アンケート（設問1-1）の分析結果



魅力はあるが活用できていない地域資源がある自治体数は半数を大きく上回っているため、魅力ある地域資源を活用する方法の検討は宮城県内の多くの自治体で課題であることがわかる。

設問【1-1】の単純集計の結果
(N=25)

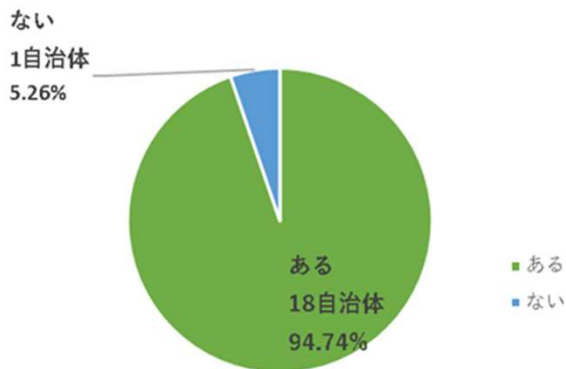
アンケート（設問1-2）の分析結果

回答していただいた地域資源を分類した。



魅力はあるが活用できていない食材は、主に、農作物、米、海産物、酒、畜産物、そば、味噌に分類されることがわかった。

アンケート（設問2-1）の分析結果



設問【2-1】の単純集計の結果
(N=19)

魅力はあるが、活用できていない地域資源の中では、ジェラートに活用できる食材が著しく多いことがわかる。よって、ジェラートの商品開発は、魅力はあるが活用できていない地域資源を活用する手法となる可能性が高いといえる。

注)

本設問は、設問【1-1】で「ある」と回答した自治体が回答する設問である。したがって、本設問の回答は22自治体からいただいたが、設問【2-1】は、設問【1-1】で「ある」と回答していない自治体による回答の3回答については本設問では無効回答として扱い、分析の対象に入れず、設問【1-1】で「ある」と回答している自治体である19自治体を対象に分析した。

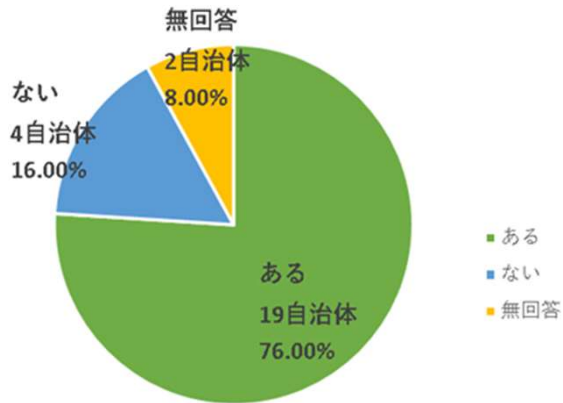
アンケート（設問2-2）の分析結果

回答していただいた地域資源を分類した。



魅力はあるが活用できていない食材の中でジェラートに活用できる食材は、主に、農作物、米、酒、そば、味噌に分類されることがわかった。

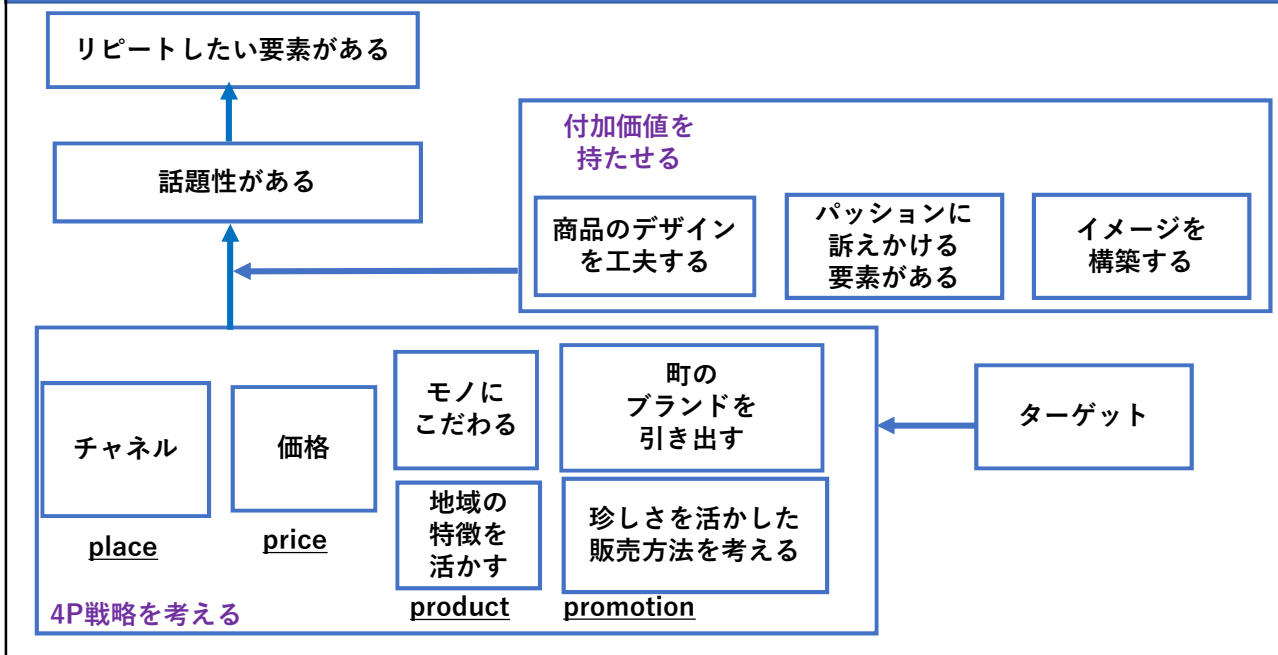
アンケート（設問3-1）の分析結果



宮城県の地域資源を活用したジェラートに興味・関心がある自治体は半数を上回っていることがわかった。

設問【3-1】の単純集計の結果
(N=25)

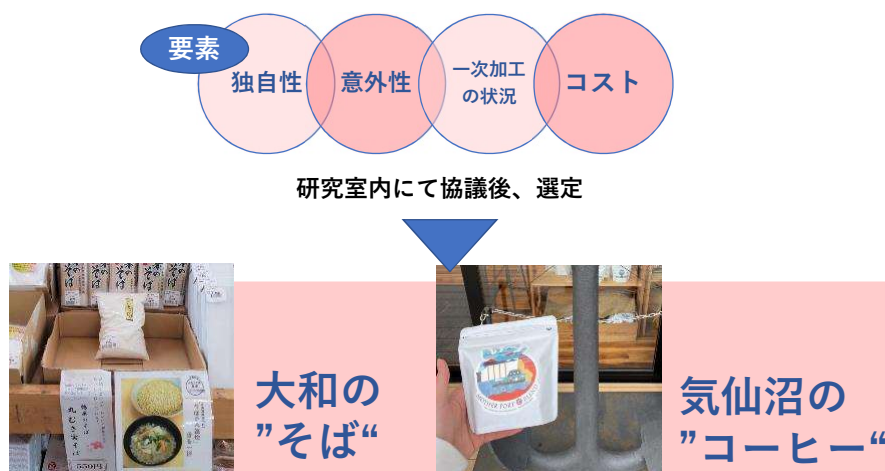
アンケート（設問3-2）のKJ法での分析結果



アンケート（設問3-2）のKJ法での分析結果

ターゲットを明確化し、4P戦略を考えること、
付加価値を持たせることによって
話題性を創り出して、
リピートしたい要素があることが、
自治体が地域資源を活用する際に重視するポイントである。

宮城大生が選んだ！魅力あふれる食材2選

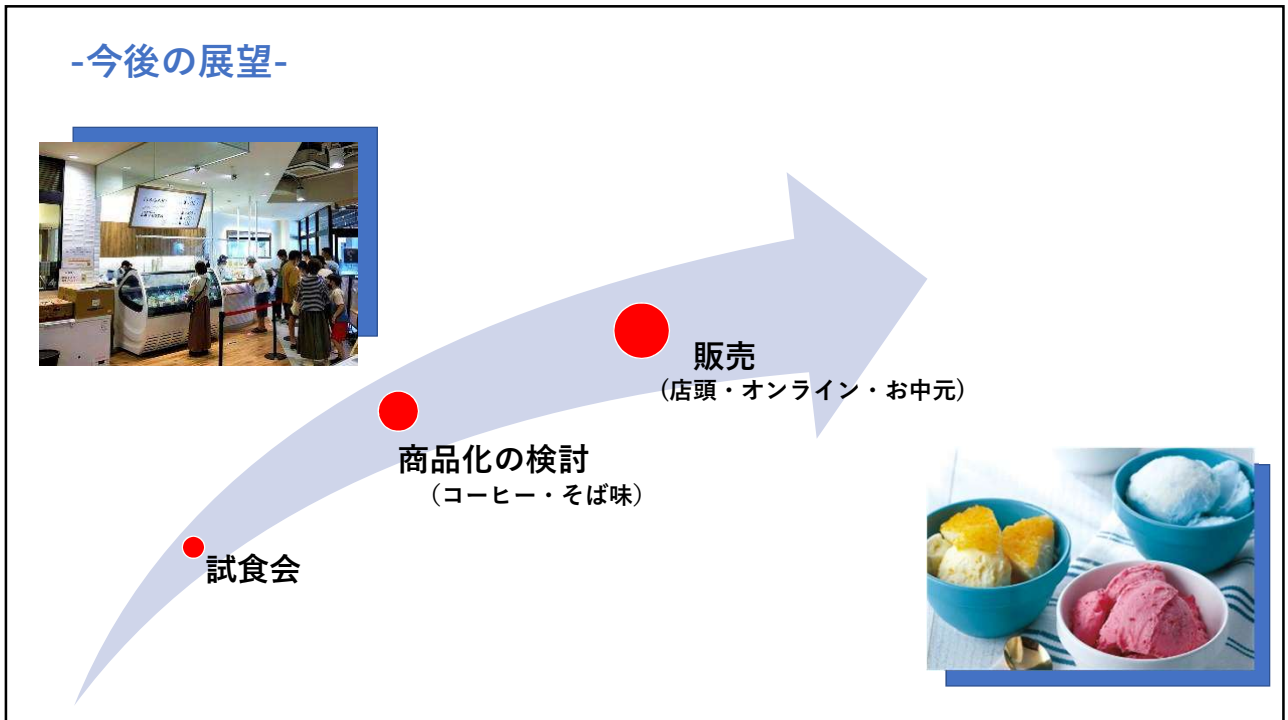




Soba
 ・そばの実トッピングver.(右)
 ・そば粉クッキートッピングver.(左)
 ジェラート自体にもそばの実を利用
 そば特有の香ばしさが引き立つ

**コーヒーとそば
 どんな味に
 なったの？**

Coffee
 ・コーヒーソース付属ver.(手前2つ)
 ・アイリッシュver.(右から2つ目)
 ・マーブルver.(右)
 大人から子どもまで楽しめるラインナップ



宮城県制150周年記念事業

「宮城の魅力発見！」活動企画 活動記録報告書



細倉マインパーク

くりてんミュージアム

六日町通り商店街

宮城大学 ZUUUんだ<匠>

目的・背景

栗原市の観光資源は
圧倒的な認知不足が課題

抱えている課題

宮城県出身者の**85.8%**が
細倉マインパークを知らない

*6月20日から6月21日まで
10代～40代までの男女106名にアンケート



圧倒的な強み

大人も子供も
“ワクワク”するような
ノスタルジックで
思わず胸躍るコンテンツ

魅力的な体験アクティビティ」である栗原市の資源の認知を
拡大することで、宮城県の魅力アップを目指す！



宮城大学の強み：VR教育コンテンツ制作実績

メンバー・担当教員・支援者

宮城大学の学生・教員のほか 9施設1企業とともにプロジェクトを実施

メンバー 宮城大学 事業構想学群

4年生：3名

1年生：3名

サポートメンバー



担当教員 宮城大学

中田教授、安藤准教授、三好准教授、
青木准教授、高山専任講師

支援者 9施設1企業と協働

📍 細倉マインパーク

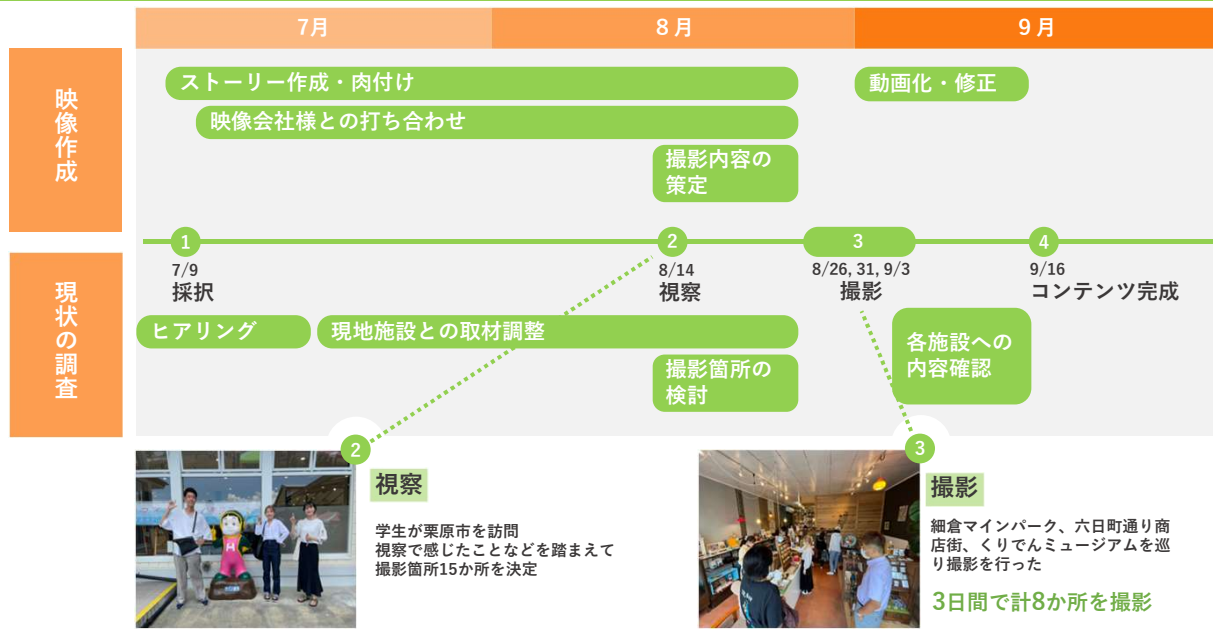
📍 くりでんミュージアム

📍 六日町通り商店街

- ・ 佐々木金物店
- ・ cafeかいめんこや
- ・ コトリ
- ・ にじくじら遠藤商店
- ・ ねこの森雑貨店
- ・ 岡本老舗

🏢 (株)クロスリアリティ

活動内容



成果物

栗原市の魅力を
どこでもいつでも手軽に体験できる

VRコンテンツが完成！

Point

1

細倉メインパーク

Point

2

くりでんミュージアム

Point

3

六日町通り商店街



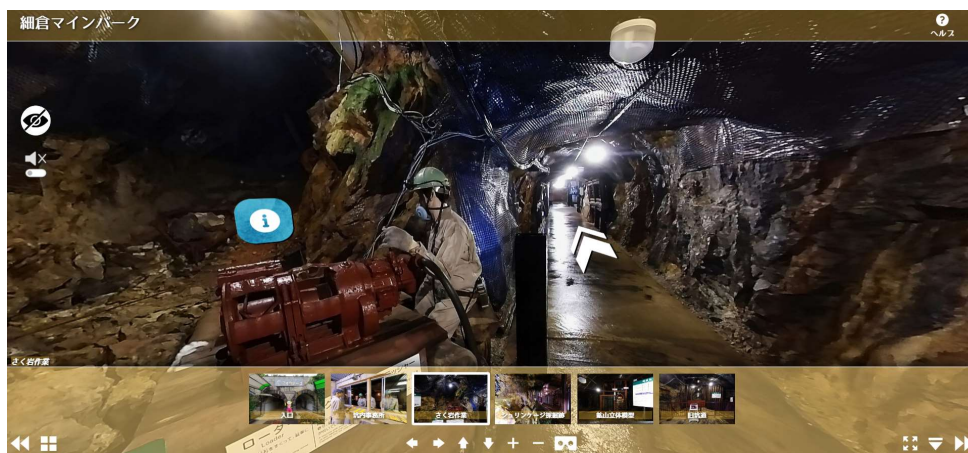
<https://www.myu.ac.jp/~kuriharavr/>

成果物

Point

1

細倉メインパーク

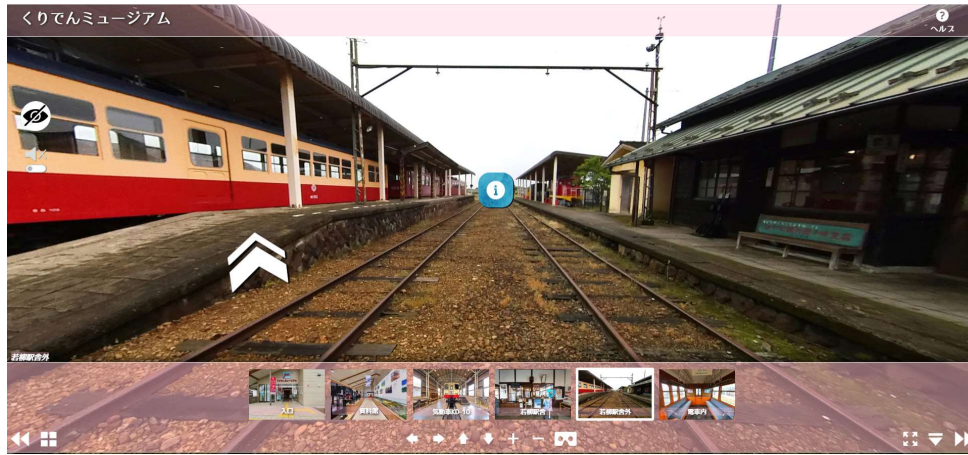


<https://www.myu.ac.jp/~kuriharavr/>

成果物

Point
2

くりでんミュージアム

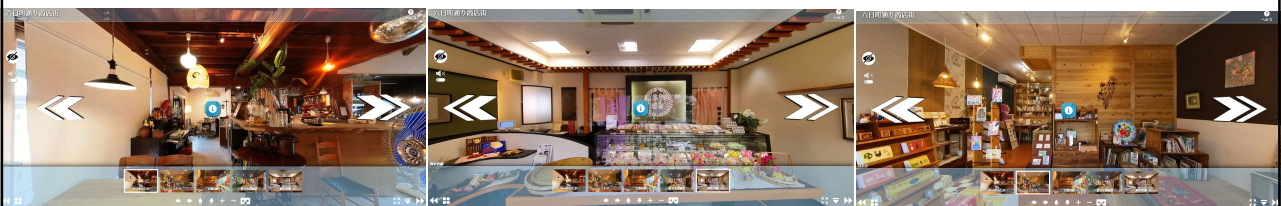


<https://www.myu.ac.jp/~kuriharavr/>

成果物

Point
3

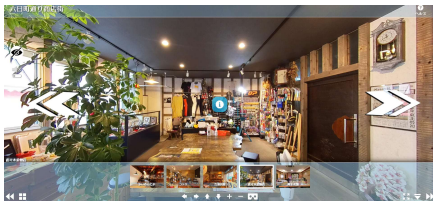
六日町通り商店街



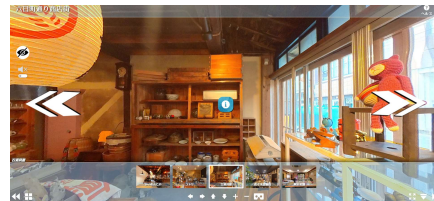
かいめんこや

岡本老舗

コトリ



佐々木金物店

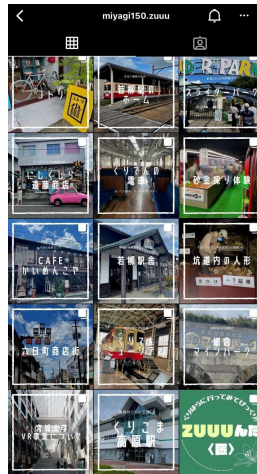


小道具屋

<https://www.myu.ac.jp/~kuriharavr/>

成果物

栗原市の魅力&作成したコンテンツを広めたい！
Instagramアカウントの運営



掲載施設からのリポストも！

今後の展望

その1

教材として活用

宮城の魅力を学習可能な
教材としてアピール
当学でも活用予定



その2

魅力の広域化

ノスタルジー体験を
周辺地域に拡大し
宮城の魅力をより強化



その3

魅力の多様化

農業体験などの
アクティビティを加え
魅力を多様化していく



ぜひこちらからチェック！



ご清聴ありがとうございました！

みやぎ 150 周年記念ロゴマークの使用について

宮城県では、県制 150 周年を記念し、これまで受け継がれてきた歴史や文化、積み重ねてきた県の歩みを振り返ることで、県民一人ひとりの郷土への更なる愛着を醸成するとともに、我が県の魅力を再発見し、その特色を内外に発信することを目的に、ロゴマークを作成しました。

ロゴマークは、宮城県誕生 150 周年のPRを目的として使用することができます。使用に当たって料金は発生しません。ただし、商品パッケージへの使用など商用で利用する場合には、事前に使用申請が必要となりますので、手続きをお願いします。

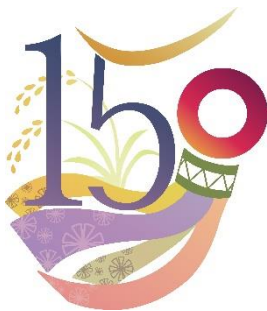
なお、使用申請が必要ない場合でも、下記4に該当する場合は使用できません。

【使用承認なく使用できる例】

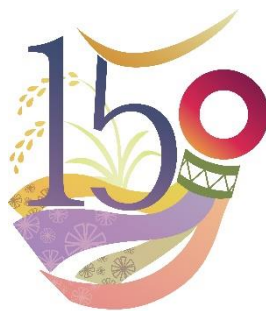
- ・企業や団体、個人が宮城県誕生 150 周年のPRを目的に、名刺、封筒、ポスター、パンフレット、ホームページ、店舗の入口への掲示等に使用する場合
- ・新聞、テレビ、雑誌等の報道関係機関が報道目的に使用する場合

1 使用できる画像

① ロゴマーク



② ロゴマーク
文字入りパターンA



③ ロゴマーク
文字入りパターンB



MIYAGI
150th ANNIVERSARY

2 使用期間

令和3年11月8日から令和5年3月31日までとします。

3 使用申請手続

下記 URL からみやぎ電子申請サービスにより申請してください。

【電子申請 URL】

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1635726322330>

申請内容を審査の上、使用承認するものについては、使用承認書を申請者に交付します。

4 使用承認しない場合

次の各号に該当する場合は、使用を承認しません。

- (1) 宮城県の品位を傷つけ、又は傷つけるおそれのあるとき。
- (2) 自己の商標や意匠とするなど、独占的に使用する、又は使用するおそれのあるとき。

- (3) 法令又は公序良俗に反し、又は反するおそれのあるとき。
- (4) 特定の個人、政党、宗教団体を支援又は公認しているような誤解を与え、又は与えるおそれのあるとき。
- (5) その他、その使用が著しく不相当であるとき。

5 申請内容の変更

使用承認を受けた後で、申請内容と異なる使用をする場合は、下記 URL からみやぎ電子申請サービスにより変更申請してください。

【電子変更申請 URL】

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1635485165985>

申請内容を審査の上、変更承認するものについては、変更承認書を申請者に交付します。

6 使用条件

使用承認、変更承認を受けた場合は、次の各号に従って適正に使用してください。

- (1) 使用する大きさには制限はありません。
- (2) 縦・横の比率、バランスの変更はできません。
- (3) デザインは「みやぎ 150 周年記念ロゴマーク デザインマニュアル」を遵守してください。
- (4) ロゴマーク使用品の現物又は写真（画像データ）を企画総務課宛てに提出してください。提出されたロゴマーク使用品・写真は返却しません。
- (5) 使用品（完成後）を写真（画像データ）で提出する場合は、下記 URL からみやぎ電子申請サービスにより提出してください。

【写真（画像データ）提出 URL】

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1636679717886>

なお、これらの使用品・写真は、県制 150 周年記念事業プロモーションのため、県のホームページや広報に使用する場合があります。

7 使用承認の取り消し

使用条件に違反した場合、または申請内容に虚偽があることが明らかになった場合は、使用承認を取り消します。この場合は、直ちに使用を中止し、使用物の回収・撤去等を行ってください。

8 その他

- ・立体物や動画等での利用を希望する場合は、あらかじめ相談ください。
- ・令和 5 年 3 月 31 日までの期間の使用承認を受けたもので、当該期間内に製品等に付されたロゴマークについては、当該期間を超えて使用することができます。
- ・このロゴマークは、宮城県誕生 150 周年の PR を目的に使用されるものであり、県が商品やサービスの品質等を保証するものではありません。

9 問い合わせ先

宮城県企画部企画総務課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1

TEL : 022-211-3872

E-mail : miyagi150th@pref.miyagi.lg.jp